

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10050020

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	6 下水道事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成32年度迄 A=221ha 全体計画事業費C=13,975,000千円
基本施策	17 上・下水道の整備	事業優先度	A	
単位施策	2 下水道の普及促進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	雄武公共下水道事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	管渠延長・施設更新件数		#N/A	
事業目標	1,260m・10件	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容		
計 画 内 容	◆管渠 ・魚田地区(スターレスト付近):L=120m 管渠工事・実測調査設計 ・幸町地区(町道梅小路):L=60m 管渠工事・実測調査設計 ・末広町1区地区(クラフトパーク):L=100m 管渠工事・実測調査設計 ・開生地区(佐野宅):L=60m 管渠工事・実測調査設計 ・魚田地区(畠森水産):L=300m 管渠工事・実測調査設計 ・MP更新工事 ・ストックマネジメント計画策定(管渠) ・雄武公共下水道事業変更認可 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・ストックマネジメント計画策定(処理場) ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	◆管渠 ・魚田地区(スターレスト付近) L=120m 実測調査設計 ◆処理場 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新単価策定 ◆舗装補修工事	◆管渠 ・魚田地区(スターレスト付近) L=120m 管渠工事 ・幸町地区(町道梅小路) L=60m 実測調査設計 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新工事監理 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新単価策定 ◆舗装補修工事	◆管渠 ・幸町地区(町道梅小路) L=40m 管渠工事 ・末広町1区(クラフトパーク) L=100m 実測調査設計 ・開生地区(佐野宅) L=60m 実測調査 ・雄武公共下水道事業変更認可 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新実施設計 ◆舗装補修工事	◆管渠 ・開生地区(佐野宅) L=60m管渠工事 ・末広町1区(クラフトパーク) L=100m管渠工事 ・魚田地区(畠森水産) L=300m実測調査設計 ・MP更新工事(宮下MP) ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新工事監理 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新単価策定 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事	◆管渠 ・魚田地区(畠森水産) L=300m管渠工事 ・ストックマネジメント計画策定(管渠) ・MP更新工事(サヨ川IMP、大川IMP) ・可搬型発電機及び運搬車両購入 ◆処理場 ・処理場機器改築更新工事 ・処理場機器改築更新工事監理 ・ストックマネジメント計画策定(処理場) ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事		
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	496,200	14,500	85,500	58,300	157,900	180,000
実 績 事 業 費	財源内訳	国庫支出金	250,850	6,500	43,500	27,400	81,950	91,500
	道支出金	0						
	地方債	210,900	6,500	39,500	25,100	73,800	66,000	
	その他	17,000	700	1,200	2,900	1,000	11,200	
	一般財源	17,450	800	1,300	2,900	1,150	11,300	
事業費(千円)	312,059	12,842	82,379	60,588	156,250	0		
財源内訳	国庫支出金	155,003	5,822	40,441	27,319	81,421		
道支出金	0							
地方債	144,400	5,800	40,300	25,000	73,300			
その他	4,894	610	819	2,700	765			
一般財源	7,762	610	819	5,569	764			
特定財源の名称	◎国庫支出金 ・社会資本整備総合交付金 5/10, 5.5/10 ◎地方債 ・下水道事業債 100% ・過渡債 100% ◎その他 ・一般会計繰入金	【評価・実績】	(実施内容等) ◆管渠 魚田地区(スターレスト付近) L=123m 実測調査設計 ◆処理場 ・処理場機器改築更新実施設計 ・処理場機器改築更新単価策定 ◆舗装補修工事 ※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ◆管渠 魚田地区(スターレスト付近) L=122.82m 管渠工事・幸町地区(町道 梅小路)L=60m 実測調査設計 ◆処理場 処理場機器改築更新工事、 工事監理、実施設計、単価策定 ◆舗装補修工事 ※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ◆管渠 幸町地区(町道梅小路)L=40m 管渠工事 ・末広町1区(クラフトパーク)L=100m 実測調査設計 ・開生地区(佐野宅)L=60m 実測調査 ◆処理場 ・処理場改築更新工事、実施設計 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事 ※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ◆管渠 開生地区(佐野宅)L=51.3m管渠工事 ・末広町1区(クラフトパーク) L=91.7m管渠工事 ・魚田地区(畠森水産) L=316m実測調査設計 ・MP更新工事(宮下MP) ◆処理場 機器更新工事、工事監理、実施設計、単価策定 ◆舗装補修工事 ◆公共樹設置工事 ※事務事業評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果	
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	120m・1件	180m・2件	200m・2件	460m・2件	300m・3件		
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		89%	96%	104%	99%	0%	
	全体達成率		3%	19%	31%	63%	63%	
	備考欄							

事業名	雄武公共下水道事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者	作成者 職氏名	下水道係長	下斗米 勇

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、雄武公共下水道施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	管路布設及び設計延長・施設更新件数	
【抱える課題やニーズは】	公共用水域の水質悪化及び快適な居住環境の確保	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	公共用水域の水質保全や快適な居住環境	① 管渠布設及び設計延長/ 管渠布設及び設計延長の実績	目標年度	平成28年度
			目標値	460 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	公共用水域の水質保全及び居住環境の向上	② 施設更新件数/施設更新件数の実績	実績値	459 m
			達成度	99.8 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による本工事・実施設計等の実施	入札等により民間業者に本工事・実施設計等を発注し雄武公共下水道事業を実施した。	目標年度	平成28年度
			目標値	2 件
			実績値	2 件
			達成度	100.0 %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	公共用水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	管渠布設工事及び実施設計等を実施したことにより、下水道普及率向上及び水洗化率向上に向けた環境の整備が図られる。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	管渠布設工事及び管渠設計において、再生舗装材の使用や小型塩ビマンホールを採用し、コストを抑制することは効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	下水道管渠布設地域の住民から整備費の一部として、対象者から受益者負担金を徴収しており、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公共用水域の水質保全、快適な居住環境を確保するためには必要な事業であり、今後も計画通り事業を進める事が適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
管渠布設工事については、未普及解消地域を解消するために必要な事業であり、浄化センターについても、老朽化している機器の更新計画を実施し施設の延命化を図るためには現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止